

溪谷コース 松川湖からさくらの里へ

松川湖のやすらぎと松川の源流で野鳥と遊ぶ

コース紹介

バス停「八代田」をスタート、**万葉の小径**を歩く、約20分中伊豆バイパスに出ます。ここからバイパスに沿って歩き途中（おくの公園入口）から左へ入ると右に放水路を見ながら**おくの公園**に着きます。**ダムえん堤**へは左右どちらからでも登ることが出来ます。奥野ダム資料館経由ならば左へ、管理棟、エコブリッジ、花の広場、飛び石経由ならば右へそれぞれの階段を登ります。この辺でゆっくりと時間をとりたい。一息いたら**白川橋**へ、ここから松川に沿って道なりに進みます。自然の姿そのままの中に野鳥との出会いが楽しめます。川がなくなってきたら舗装道路になり、もうすぐ県道に出ます。県道を車に注意しながら20分程歩くと**「さくらの里」**に到着です。バス停**「シャボテン公園」**は近くです。このコースは野鳥の図鑑、双眼鏡等持っていきと楽しさも広がります。鎌田城址コースも健康回復ハイキングコースとして整備。

コース案内

バス路線	停車駅	所要時間
JR伊豆高原線	伊豆高原駅	バス約15分
伊豆シャボテン公園バス	伊豆シャボテン公園バス停	約10分
伊豆シャボテン公園バス	大室山(お鉢めぐり)	約20分
伊豆シャボテン公園バス	さくらの里・大室山	約60分
伊豆シャボテン公園バス	井原の庄	約40分
伊豆シャボテン公園バス	白川橋	約15分
伊豆シャボテン公園バス	松川湖(奥野ダム)	約25分
伊豆シャボテン公園バス	ホームセンター	約20分
伊豆シャボテン公園バス	八代田橋	約25分
伊豆シャボテン公園バス	万葉の小径	約15分

歩程約3時間・時間はおよその目安として表示しました

曾我物語ゆかりの場所

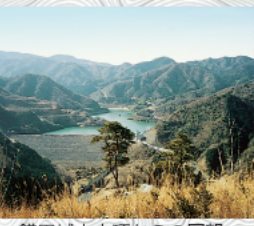
「曾我物語」の発端は、曾我兄弟の父河津三郎祐泰が、殺されたところから始まるがその前座として、「奥野の巻狩り」（このコースを含む一帯で場所の特定は定かではない）とその後で行われた「大相撲」がある。この相撲で見事な勝ちをした河津三郎祐泰の決まり手「河津掛け」は、今でも相撲四十八手の中に名を残している。

コース内の年中行事

3月上旬～10月10日 松川湖釣り解禁
4月上旬 さくらの里まつり
7月下旬 奥野ダム一日ダム教室



伊東松川上流、奥野ダムによって造られた人工湖で、ここでは「おくの公園」や「花の広場」「水遊び広場」「エコブリッジ」「資料館」などがあり、周囲には遊歩道が整備されています。



鎌田城山頂からの展望

鎌田城跡とその伝説

後北条時代に築かれた山城で、城山山頂には今も、から堀跡が残っています。山城あった事実は残るが、この城山に関する事実はあまり分かっていません。昔から伝わる落城伝説（白米伝説）が残っています。今は地元区民が「電爪神社」を奉っています。

コース内の年中行事

ダム建設に関する資料や水没した奥野部落の生活の記録が展示されています。



1989年に松川上流に洪水調節、水道用水等の目的で作られた伊豆半島唯一の本格的ロックフィルダムです。



松川源流域



コース沿の杉林

コースで見られる野鳥

溪流と湖のこのコースでは四季を通して多くの野鳥を見ることが出来ます。松川湖では秋から春にかけてカモ類が多く見られます。特にオンドリは静岡県でも一二を争う飛来地になっています。溪流にはセキレイ類、カワセミ、カワガラス等が又周囲の林にはシジュウカラ、ヤマガラス、コゲラ、メジロ、イカル等の小鳥類が観察できます。



セキレイ、モズ



メジロ、カワセミ



セグロセキレイ



アオサギ



オンドリ



カルガモ



ホオジロ



ホシハジロ

Bird Watching

ゴール

大室山 581m

大室山登山リフト

伊豆シャボテン公園

さくらの里 (春)

さくらの里 (秋)

40種が植栽されており夏の時期を除き間断なく桜が楽しめます。冬から春へ菜の花が咲き、夏にはヘメロカリスが咲き、秋にはコスモスの花が風に揺れます。



沿道に自生する万葉の植物に親しみながら山部赤人、柿本人麻呂、大伴家持等の歌碑を巡る小径。

スタート

バス停 八代田橋

城山登山道

尾根の急登

城山 (310m)

松川湖の眺望が最高

電爪神社

城の平バス停

GS

城の平バス停

コンビニ

ホームセンター

県道

万葉の小径

松川

稚児ヶ淵

城平住宅

お墓

八代田橋

コンビニ

文 門野中学校

かどの球場

松川散策コースへ

至伊東市内

0 500m 1000m